



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

2024年12月号 12月2日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

2024年を振り返る

今年のカレンダーの残りが1枚となりました。時の流れは早いですね。みなさんにとって今年はどのような年だったのでしょうか。

小学部では、読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受け、本校の読書活動の取組が文科省のHPに掲載されました。また、合唱部が、全日本合唱コンクール全国大会で銀賞を受賞しました。このように、日頃の活動が評価された嬉しい年でした。

ところで、今年度小学部では、高学年の算数と英語の「読み」「書き」の時間を少人数で実施し、学習面のさらなる充実を目指しました。算数は、5、6年生で学年を習熟度別の2~3グループに編成し、英語の4~6年生の「読み」「書き」は、1クラスを2つに分けて学習を進めました。

少人数で学習することで、学習に対してこれまでよりも積極的に取り組む様子が見られ、学習内容についての理解も深まったように感じられました。

今後も、児童の主体的な学びを重視するとともに、体験活動と学習の調整を考え、『知』『徳』『体』の力をそれぞれバランスよく積み上げて成長していけるよう教職員一同努めてまいります。

12月行事予定

- | | |
|----------------|-------------------|
| 2日 朝会 | 14日 縦割り集会・方面別下校 |
| 3日 クラブ | 16日 成績会議のため児童自宅学習 |
| 6日 成道会 | 20日 懺悔会・終業式 |
| 7日 休業日・入学ガイダンス | 21日~24日 5年生スキー学校 |
| 10日 クラブ | 21日~1月7日 冬期休業 |
| 11日 短縮日課開始、委員会 | 29日~1月4日 学校閉鎖 |

*3学期始業式 1月8日



今月の目標

「進んで仕事をし、後始末もしっかりしましょう。」



「我」について

「自分とは一体何なのか?」という問いは、古今東西、多くの人間が抱いてきた普遍的な疑問です。近世哲学の父と呼ばれるデカルト(フランス1596~1650)は、この問いに対して「我思う故に我あり」というシンプルな言葉で答えを示しました。(稚拙な説明で申し訳ありませんが)すなわち、この世界すべての存在を疑ったとしても、この「疑う」という精神活動をしている「私(我)」は、唯一確実な存在であると示したことで有名です。そして、仏教でいう「我」の思想は、この「私」中心の考えに執われない「無我」を説きます。この「無我」とは、この世のすべてのものは絶えず変化しており、固定不変の「自己」というものは存在しないと説きます。これが仏教の「無我」という思想です。つまり、私たちが「私(我)」と認識しているものは、刻々と変化する一連の現象の一つに過ぎないのです。しかし、この世界の一つにすぎない「私」であっても、他の全てのものとつながり、共に生かされ合っている存在と気づくことが大切なのです。「我思う故に我あり」という自己についての探求は、仏教の「無我」の思想へつながっていき、「私(我)」について考えることは、自分自身を深く見つめ直すだけでなく、そこから「自己」と「他者」、「個」と「世界」の関係性に気づき、私たち一人一人が他者への思いやりを持つことで平和の実現に貢献できると念じています。

見てみよう! 聞いてみよう!

1年生が生活科の学習「秋を見つけよう」で、須和田公園に行ってきました。今年は紅葉が遅く、きれいに色づいた落ち葉は少なかったのですが、どんぐりをたくさん拾ってきました。

また、今年もトイレをお借りした須和田の丘支援学校から、校地にある『キカラスウリ』の実やびっしりと実のついた『ピラカンサ』の枝をいただきました。子どもたちは、ピラカンサの実を見て、「これ何?」「ミニトマト?」と聞いてくる子どもたちがたくさんいました。実際に触って見て、においを嗅いで、名前を確認して、秋を感じた一日でした。